国がつくった業界ぐるみの建設業退職金共済制度ご存じですか？

◎現場で働く人達のしあわせのために建設業の事業主はみんな加入いたしましょう。
◎みなさんは退職金の手帳をおもちでしょうか、もっていない方は雇主に相談して下さい。
◎手帳には毎月働いた日数分の共済証紙をはってもらって下さい。
◎この証紙代は全部雇主の負担でこれがみなさんの退職金の掛金になります。
◎掛金の日数（証紙）が三年分以上になると退職金をもらう資格ができます。
◎この退職金は三年以上働いた人が建設業で働くことをやめたときにもらえるものです。
◎退職金の額は左のとおり

年数	退職金額
三年	四六、一二〇円
五年	七六、八六〇円
一〇年	二一二、四九〇円
一五年	三八二、七二〇円
二〇年	六三七、〇九〇円
三〇年	一、三六一、〇五〇円

印鑑証明書を受ける場合 印鑑手帳をお忘れなく

すでにみなさまもご存知のとおり、今年の四月一日から印鑑手帳制度が実施されました。

今までは「実印」を窓口に出して頂き、そのつど押印した上で証明書を出しておりましたが、あまりにも手数がかかりすぎて窓口が混雑し、住民のみなさまに大変ご迷惑をおかけしておりましたのでこの事情を根本的に改善するため、あわせて印鑑証明事務の特殊性から起りかねない偽証や誤証を未然に防止するためにこの印鑑手帳制度が実施されたわけであります。

以来、この制度はみなさまからの大変なご好評を頂くなかで窓口事務もスムースに進行して参りましたが、たまたま「手帳」をご持参にならずに印鑑登録証明書の交付を申請される方がみられるようになりました。

みなさまもご存知のとおり、この制度は登録された「実印」の印影を複写して謄本として証明することになりますので、当然のことながら登録された実印の印鑑票と手帳を照合しなければ証明書の交付はできないことになります。

手帳を実印と同様、大切に保管して頂きますように、

また、印鑑登録証明書の交付を申請されるさいは必ず手帳をご持参下さいますようお願い申し上げます。

委任状もお忘れなく

印鑑登録証明書の交付を受けようとするときは、本人以外はすべて委任状が必要となりますのでご留意下さいますようお願い申し上げます。

「黒埼荘」にご寄付ありがとうございました

老人憩の家黒埼荘が完成しましたことは先月号でお知らせしたとおりでございます。黒埼荘の施設整備につきましては多くの篤志家の寄附を頂戴しまして有難うございました。本誌上をもちまして厚くお礼申しあげます。

寄贈者　伊勢化学工業ＫＫ、東邦天然ガスＫＫ、三国コカコーラＫＫ、第四銀行大野支店、大野町工友会、樋口組、黒埼村老人クラブ連合会、浅妻三七、黒埼村議会議員江端修吾・笹川盛市・鈴木源吾・小林賀助・山際寅作・泉喜十郎・大塚利一・渡辺修平・青木太一郎・安藤忠治・鳴海敏雄・丸山和五郎・大矢正治・鶴巻茂市・大野周助・内藤隆・風間豊治・佐野兵治・時田善治・宗村藤市・保苅清一・白井弘・深沢利英・前田重助・永井彦二

おかげさまをもちまして、ステージ幕、カラーテレビ、ガストーブ、ポット、演台、座卓、座布団、座椅子、応接セット、電気掃除機、将棋、碁、その他スリッパからタワシ、石けんに至るまで購入させて戴きました。

注意!! 水道の凍結防止

間もなく厳寒の時期を迎えることになりますが、これに伴ない水道管等の凍結破損事故が続発することが予測されますので凍結事故の防止のため次の事項について充分ご注意下さい。

一、外部に露出している水道管については保温設備を必ずして下さい。家庭にある間にあわせのものでは巻きれ、藁等を厚く巻いてその上にナイロン等で防水することでもよい。

一、特に冷え込みのある場合は蛇口を少しあけ（鉛筆の太さ）て水を出しておくこと。

一、ガス湯沸器等の場合は元火を消す場合は水を素通しにしておくか又、器具内の水を抜いて下さい。

一、凍結した場合は熱湯を蛇口にかけないで、温湯に浸したタオル等で温めるようにすること（熱湯は破裂します）

一、破裂した場合は応急処置として木栓かキリの柄などをさし込むか又は上水栓、丙止水栓（量水器内）等を止めて企業課へ連絡して下さい（電話七一二五一六）

水道メーター検針の休止

例年により、冬期間の12・1・2の三ケ月間水道のメーター検針を休止致します。従って休止期間中の料金は11月分を基準として算定して徴収し、その過不足は三月に調整しますので、よろしくご了承下さいますようご連絡致します。

降雪期がやってきます 道路に物を置かないよう

毎年降雪による交通障害がおこっています。このため村としても降雪期には昼夜除雪に努力していますが、私有物の路上放置などで除雪機械が進めないことがしばしば起り多くの住民に迷惑をかけることがあります。雪のない冬の道路を確保するには除雪機械がスムースに運転出来るようにしてもらうことが最大の条件ですので地域の一人一人が近所の人々と協力して是非とも次のことを守って下さるよう協力をお願い申し上げます。

一、除雪車は高さ四・五米以上ないと通行できません。道路上を横断しているカ架設物（ガス管等）など垂れ下っていたら規定の高さに直して下さい。

二、道路脇に破損しやすい物件がありましたら除雪車がわかるように表示しておいて下さい。

三、道路上に駐車や物件を放置しないで下さい。

四、道路上に突き出ている樹木の枝等は切り落すなり、又は雪のために垂れ下ることのないよう補強しておいて下さい。

建設商工課

目立つ高校生の二輪車事故

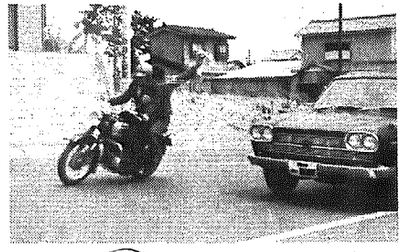
家庭内で充分な注意を

本年度四月末現在における県下の高校生の交通事故は、件数二五三件、死者二人、傷者二二〇人と全事故に比し七、一％を占めているが、四月に入ってから急激に増加し、死者は五月に入りすでに三人出ている。高校生事故の場合、二輪車事故がその過半数を占め、県下全二輪車事故死傷者の約二〇％を占めており、全高校生事故の、六一、八％を占めている。このようなことから、教育過程にある高校生の事故割合が大きなことは、極めて大きな問題であるということができ、また若年層事故が、県下交通事故多発の要因となっていることからしても、これからの対策は、若年層事故対策の中心となるべきものであると考えられ、高校生事故防止対策は、本県交通事故防止上極めて重要であるということができる。曜日別発生状況では、日曜日54件、土曜日42件、水曜日40件と日曜日の事故が多いのは一般的な傾向として見られるところで、休日の開放感がその大きな要素となっているところであるが、土曜日、日曜日と連続して多発しているところから週末においては、とくに交通事故防止の注意を家庭内で呼びかけられるようにしましょう。

彼らは何を考えて飛ばすのか？

板井小では自転車の安全な乗り方の実習を

近年ますます交通事故は増え、本村においては2日に一人の割りあいで負傷者が出ている現状です。特に子供と老人による事故が多くなかでも自転車に乗っていたときが多くなっております。正しい交通ルールは子供の時からと、11月5日に板井小学校グラウンドに於て、自転車の安全な乗り方教室を開催致しました。当日、板井小学校、ＰＴＡ、新潟西警察、交通指導隊等が協力し、午後一時より約二時間にわたり全校生徒約一〇〇人に対し自転車の安全な乗り方と歩行者の場合の交通ルールなどを模擬コースにより斎藤交通課長らの熱心な指導をうけた。最近大人でも自転車の交通ルールが子供より悪い人を見かけますが、交通戦争と言われている今日、一件でも事故を減らすには、運転者はもちろん、自転者に乗る人、一人一人がもっと交通ルールを知り、村民一人一人が事故を防止するのだと



名所旧跡めぐりをして

八区　一婦人

最近の旅行ブームは目をみはらせるものばかりであり、海外旅行、国内においても遠方への旅行がほとんどである。確かに遠出することは目新しいものをみたり聞いたりすることが可能で楽しみかもしれません。しかしながら私達は近くのものを見落しがちではないでしょうか？

新潟県は自然に恵まれて、昔からの歴史ある、名所旧跡があるというのに案外知名度が低いようです。特に若い年齢層に多いような気がします。今回、婦人会で主催した村内名所旧跡めぐりに参加させて頂きまして思いもよらないことといえば、村内にあれだけの文化財がありながら話に聞くだけで、目で確かめなかったこと、自分ながらにたいしたことはないなんていう言葉で片付けてしまった場合が多いようでした。県外の知名度の高い文化財については、強い印象を残しているのに全然興味のないところには無関心で面白くないと思っていました。不思議なことに、他県の人がみたら、案外、印象に残ったりするのかもしれません。私達は、自分の生たところ、すなわち故郷をよく理解し知った上で他の知名度の高い文化財を評価し、又自分の近くにある文化財をも、それと対等に評価すべきではないでしょうか。

現在、あちこちに網のように道路が発達し工業化が進み、自然破壊現象が強まりつつある今日、私達は一時的には都合的なものを求める反面それ以上に自然を愛するのではないでしょうか。私達の生活を豊かにするためには、今以上にもっと自然を大切にし更に発展させ育てていく必要があるのではないでしょうか。

文集「めだか」より抜粋

旧軍人の方にお知らせ

一、旧金鵄勲章叙賜一時金受給者に対する措置として昭和十五年四月二十九日付で金鵄勲章を授与されたことにより一時金として賜金国庫債券を支給されたかた（金鵄勲章授与者）は内閣総理大臣より銀盃が贈られることになりましたので申請してください。

二、一時恩給の請求について、実在職年三年以上七年未満の下士官以上の旧軍人で下士官以上としての在職年が一年以上のもの又はその遺族に一時恩給または一時扶助料が支給されることになりました。

一、二ともそれぞれ申請用紙が役場にありますので該当者は十二月十日までに申請してください。